

## TOPICS

## 冷感に優れた繊維生地の開発

—快適な繊維製品を目指して—

繊維生活部 中島明哉 (なかしま あきちか)

nakasima@irii.jp

専門：スマートテキスタイル、繊維加工

一言：快適性にご興味のある方はお声掛けください。



近年では、夏用マスクや手袋、テレワーク用ビジネスウェアなどの新たなトレンドが生まれており、快適性の高い繊維製品の開発が求められています。

そこで工業試験場では、繊維製品の快適性に重要となる生地の接触冷感や通気度についての研究を行ないました。その結果、生地を構成する糸や織組織などが接触冷感に影響し、図1に示すように接触冷感が予測可能であることが分かりました。一方で、接触冷感が高い生地は組織が密になり、通気度が下がるため、快適性が悪くなることが分かりました。快適性には接触冷感だけでなく、通気性などとのバランスの取れた製品開発が重要であることを確認しました。

このように接触冷感等の評価を活用すれば、効率的に快適性に優れた生地の開発や図2に示すような製品の試作開発が可能になります。

工業試験場では、冷感など快適性に優れた繊維製品の開発支援を行なってますので、お気軽にご相談ください。

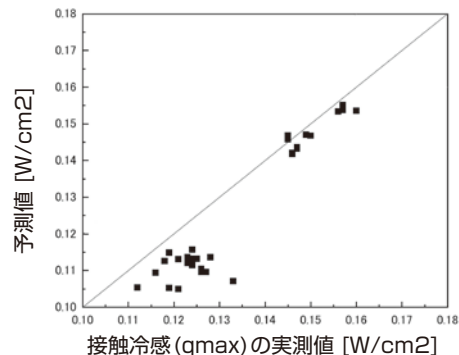


図1 ナイロン織布の接触冷感の実測値と予測値



図2 接触冷感に優れた生地を用いた試作品